

平成30年度秋田県立農業科学館運営協議会 要旨

1. 日 時 平成30年7月17日（火） 13:30～16:20

2. 場 所 秋田県立農業科学館 多目的ホール

3. 出席者

委員（7名）

石 川 和 美	委員（ほっと大仙理事長）
小 林 吉 則	委員（秋田県立大曲農業高等学校長）＊副委員長
佐 藤 啓 子	委員（元JA秋田おばこ女性部フレッシュ部会長）
和 田 英 範	委員（大仙市教育委員会教育指導部長代理）
平 田 尚 之	委員（大仙市立内小友小学校長）
山信田 勢津子	委員（大曲保育会 藤木保育園長）
頼 泰 樹	委員（秋田県立大学准教授）＊委員長

生涯学習課（1名）

小野寺 康 学芸主事

事務局（7名）

沓 澤 金 哉	館長
柴 田 真 希	副主幹（兼）班長
齊 藤 憲 治	主査
高 橋 英	副主幹（兼）班長
戸 島 毅	学芸主事
照 井 梓	学芸主事
佐々木 義 仁	研修員

計15名

4. 案 件 （1）報 告

①農業科学館の事業について

- ・平成29年度事業実績について
- ・平成30年度各種事業について

②入館者の状況について

③平成29年度運営協議会提言に対する取組・成果

（2）施設見学

（3）協 議

①学校や他機関との新たな連携について

②その他

5. 委員からの主な意見

- ・多くの子どもたちに訪れてもらえるような取り組みを今後も進めて欲しい。
- ・農業科学館へ来た記念となるようなおみやげなどを準備できないものか。
- ・小さい子呼び込むためにスタンプラリーなどを実施してはどうか。
- ・第一展示室を明るくすることや、小さな子にもわかる絵などによる展示説明も必要ではないか。
- ・六次産業の加工食品をクローズアップした企画展示があってもよいのでは。
- ・教科とリンクさせた体験などが農業科学館でできるようになれば利用頻度はあがるのではないか。
- ・ハイテク技術を用いたスマート農業のような、最近の流れに乗った展示などで、子どもたちにサイエンス的なものに興味を持たせるような取り組みも必要ではないか。
- ・農業への興味や関心、または科学的なところに幼稚園・保育園の子どもたちがつながる要素があればよい。
- ・子どもたちがすぐわかるような解説表示や、もっとアピールするような、興味が湧くような案内表示があればよい。
- ・バラ園の夜のライトアップができれば集客につながるのでは。
- ・展示の解説はありがたい。職員でなくとも養成しているナビゲーターによる解説が普段からあれば、リピーターも増えるのではないか。
- ・高齢者など車椅子の方も多く訪れる施設であるので、バラ園など外部のバリアフリーについて、もう少し検討して欲しい。
- ・桜の増植を検討できないか。依頼すれば桜を植樹してくれる団体もある。大きな駐車場もあるので、桜をゆっくり楽しめる穴場的な場所として、春の桜から夏のバラフェスタへつなげられる。植樹から10年くらいは必要だが、結果はついてくると思う。
- ・農業に関する図書を増やし、誰でも閲覧できるようにしてはどうか。